

岡山県

せいきょう連 ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL:086-221-4301 ホームページ <http://kenren.jccu.coop/okayama>



瀬崎から 倉敷を眺む



清瀬 民夫 (県生協連副会長・倉敷医療生協専務理事)

先日、医療部会の上期単協代表者会議があり参加しました。今、医療生協では、来年度の全国連合会設立に向けて準備が進められており、会議の内容も全国連合会設立と「生協をいのちの分野にいかす大運動」の取り組みについてが主な内容でした。

全国連合会について論じることは、別の機会に譲るとして、とりわけ参加して印象に残ったことは、生協間の連携の取り組みについてでした。7月に開催された岡山県協同組合連絡協議会交流会でも「異種協同組合間協同活動の課題」という講演がありました。改めて県生協連の一員として、医療生協と購買生協や異種協同組合との具体的な取り組みができるかという想いを抱きました。会議で報告があったのは、大阪パルコープとヘルスコープの福祉事業分野を中心とした連携と総務関係や組織面の連携までも広がってきている取り組みについてでした。特に、パルコープの理事長が強調されていた「生協から地域でなく、地域から生協を見る視点が重要」という点は説得力があり、購買、医療、共済の各生協が組合員の暮らしをタテ割りで見ずに、住み慣れた地域で安心して暮らしたいという組合員の要求にトータルに応えるためには、もっと異種間生協連帯を進めが必要です。11月に企画されています他生協研修「山形県鶴岡市の庄内地域での高齢者福祉施設など庄内まちづくり協同組合の協同組合間連携」を契機として、県生協連での今後の論議を期待したい。

岡山県消費者団体連絡協議会(県消団連)…最近の取り組みから…

- 第23回岡山県消費者大会を開催【10月30日(金) 10:00~12:30 オルガホール】
参加者は16団体270名となりました。

大会は、代表幹事で岡山県労福協の西田 和久事務局長の開会挨拶に続いて、グループ「ももばあ～じゅ」による公演「くらしの安心！消費者被害にあわないぞ！」がありました。振り込め詐欺を題材にした劇の後、岡山県作成のチラシ『だまされないぞ悪質商法！』を岡山弁で解説されました。最後に被害にあわないための心得7か条を参加者全員で読み上げました。



司会の和泉かよ子さん(倉敷医療生協)



開会挨拶をする西田和久氏

続いて、JA岡山県女性組織協議会が「JAグループの食農教育活動について」、岡山医療生協が「旭東支部のふれあい会食会」、おかやまコープが「産地交流」取り組みについて活動報告を行いました。

写真左から藤原忍さん(JA女性協)
長田美和子さん(岡山医療生協)
鳥形初美さん(おかやまコープ)



今回のメインイベントは、松元ヒロさんの公演「くらしに希望を 茶の間に“政治”を がんばれ！ 消費者！」が上演されました。松元ヒロさんは「ザ・ニュースペーパー」結成メンバー。得意のパントマイムから巧みな語りやモノマネで政治風刺・社会風刺を展開。この日も派遣切りで大変な労働者の現状、麻生前総理大臣のモノマネほかで会場は爆笑につぐ爆笑、1時間10分があつという間に過ぎていきました。最後に、大会宣言が読み上げられ、代表幹事の近藤幸夫弁護士の閉会の挨拶で締めくくりました。



松元ヒロさん

280名の参加者→



大会宣言を読み上げる
岡本多賀子さん(三井造船生協)



↑近藤幸夫氏

★メッセージ・祝電を寄せていたいた団体・政党・国会議員・県議会議員のみなさま★

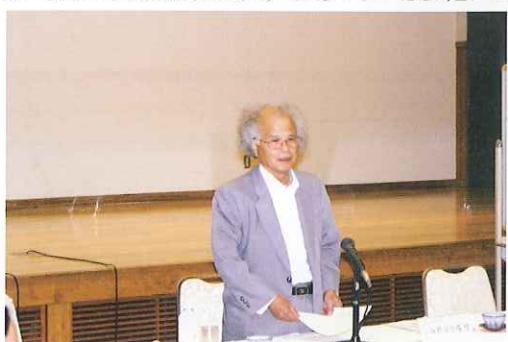
・岡山県農業協同組合中央会	会長	村上進通様	・衆議院議員	津村啓介様・柚木道義様・高井崇志様
・岡山県漁業協同組合連合会	代表理事長	奥野雄二様		花咲宏基様・村田吉隆様・逢沢一郎様
・岡山県森林組合連合会	代表理事長	井出紘一郎様		加藤勝信様・あべ俊子様
・岡山県婦人協議会	会長	水野三重子様	・参議院議長	参議院議員 江田五月様
・岡山県消費者問題研究協議会	会長	佐藤久子様	・参議院議員	姫井由美子様・谷合正明様
・民主党岡山県第3区総支部	代表	西村啓聰様	・岡山県議会議員	武田英夫様・森脇ひさき様
・自由民主党岡山県支部連合会	幹事長	天野学様		赤坂てる子様

連帯・協同の取り組み…最近の諸行事から…

●岡山県協同組合連絡協議会交流会

7月31日（金）、国際協同組合デーを記念して、県内の3協同組合の役員と県農林水産部職員など総勢39名の参加で行われました。村上進通協議会会長（JA岡山中央会会長）の開会挨拶について、県農林水産部の藤井伸次長よりご挨拶をいただきました。

基調講演では、協同組合経営戦略フォーラム代表の坂野百合勝氏から「10年後も輝き続ける協同組合運動をめざして」と題してお話しを伺いました。若者に魅力のある生協にしなければいけない等、協同組合間の共通課題について語られました。続いて、各団体より自己紹介も含めて意見交換がなされ、よりいっそう相互の連帯が強化されました。



講師の坂野百合勝氏

●食糧・農業についての地域内交流会

9月2日（水）、JA岡山・JA岡山女性部主催の交流会に、消費者として、岡山県生協連からも会員生協職員・組合員さんが20余名参加。地元で取れた食材で作られた黄にら寿司・おからサラダなどを試食。続いて、岡山県JA中央会専務理事の宮本芳郎さんが『世界の食糧事情と日本の食糧・農業の現状』と題してお話しさされました。

また、『JA岡山管内の農業の現状と将来展望について』をテーマとしたパネルディスカッションでは、県生協連理事でおかやまコープ全体理事の宮本紀子さんも、「牛乳普及キャンペーンの際、生産者のご苦労を聞くことができ、良かった。現場の大変さ・生の声を消費者が知ることはとても大切。」と発言。生産者と消費者がお互いに交流を深めることができました。



講師の宮本芳郎氏



発言する宮本紀子さん

●第25回中四国生協・行政合同会議

9月2日（水）、山口にて厚労省中四国厚生局、日本生協連役員および渉外広報部、山口県環境生活部、中四国9県の行政より12名、生協より42名の計58名参加で開催されました。

「くらしの安心・安全・住みよい社会にむけて、今求められる生協・行政の役割」をテーマとして会議がもたれ参加者より現状と課題や、取り組み活動などの報告がされました。

また「まるごと！やまぐち ふちたべちゃろう」をキャッチコピーとした山口県産品を使った和・洋料理、飲み物（地酒・焼酎・ワイン）の試食交流会では、山口鷲流狂言保存会による郷土芸能の出し物もありました。

次回の開催県は香川県です。

●医療部会外部研修（姫路医療生協）

9月25日（金）、研修テーマ「介護事業所への組合員のかかわり」として、岡山医療4人、倉敷医療4人、津山医療2人、計10人が姫路医療生協を視察しました。

《視察で学んだこと》

① 介護は医療よりも先に組合員のくらしの中にあり毎日の生活の身近なこととしてある。そこにしっかりと目を向け組合員要求に応えている。そして事業として立派に運営している。



② 事業所の開設については、準備段階から組合員参加をしっかりと位置づけている。これは、生協運動の原点であるように感じた。自分たちの要求を自分たちの協同した力で実現していくことがさらにエネルギーを生み出している。



③ 事業所運営では、運営委員会とボランティアさんが大変大きな役割を果たしている。利用者確保に責任をもつ、これぞまさしく生協の姿でしょうか。

④ 事業所で働く人材も、ヘルパー養成講座を開催し自前で養成している。また、事業所の人才培养でも責任者募集で自己推薦制を採用するなど働く意欲を引き出す工夫もされている。

●「菜の花を植えるつどい」



10月9日（金）赤磐市の岡山県農業総合センターにて、岡山県・岡山県菜の花プロジェクト推進協議会の主催で第1回「菜の花を植えるつどい」が開催されました。前日の台風が心配されましたが、当日は秋晴れに恵まれ、岡山県菜の花プロジェクト推進協議会員赤磐市内保育園児、農業大学校等、約250名の参加がありました。

農業大学校生による和太鼓演奏のあと、石井岡山県知事、村上JA岡山中央会長の開会挨拶につづき、知事、保育園児及び協議会委員等により菜の花の苗の植え付けがされました。また10月23日（金）には本協議会のモデル地区の総社市上林地区において、地元の子供たち等による第2回「菜の花を植えるつどい」が開催されました。

●岡山県に「要望書」を提出

岡山県生協連は、10月15日（木）県に要望書を提出しました。

要望は、生協の育成、消費者行政、食の安全・食育、災害対策、環境対策、保健・医療・福祉・介護・少子化対策、地産地消運動の分野を中心に23項目となっています。

（要望項目は8ページ）

要望に対する回答は、明年の2月に予定される生活環境部との懇談会でいただくことにしています。



要望書を手渡す安場県生協連会長（左）、右は豊田県民生活課長



岡山県生活協同組合連合会 創立50周年記念講演会

テーマ(仮) 「命のメッセージ～生きる意味ってなんだろう?～」

【講 師】 旭山動物園 名誉園長 小菅 正夫(こすげ まさお) さん

今、テレビや映画、ラジオ(夏休み子ども科学相談 NHK)などでお馴染みの旭山動物園の前園長、今年の2月まで園長を務められた小菅 正夫さんが、動物たちの生き様から「命の尊さ、大切さ」を子どもたちと大人(親御さん)たちにやさしく語りかけます!

【開催日時】 2010年3月5日(金) 10時～12時30分

【会 場】 岡山コンベンションセンター

☆当日は、小菅さん自著本のサイン会も予定しています。

消費者ネットおかやま…最近の取り組みから…

- 第8回消費者被害なんでも相談会を開催します

とき 11月28日(土) 10時～15時

ところ きらめきプラザ
(岡山市北区南方2-13-1)

会場にお越し下さい

きらめきプラザ5階
県消費生活センター研修室

電話でもご相談できます

(086)-801-9250(当日限り)

予約不要・時間制限なし・無料・秘密厳守



* JR岡山駅から徒歩15分程度

お問合せ先；NPO法人消費者ネットおかやま事務局 (岡山県消費者団体連絡協議会気付)

TEL 086-221-4302

- NPO消費者ネットおかやまのホームページを開設しました

<http://okayama-con.net> にアクセスしてください

サイトに関するご質問・ご要望はメールアドレス shounet@okayama.coop までお願いします。

会員生協トピックス

【学校生協】

2008年度末「退職組合員の集い」を開催

2009年6月27日 ピュアリティまきび 参加者 60名

ご退職後の学校生協組合員としての利用方法や新規事業の紹介を行いました。退職組合員から共同購入・宅配企画チラシの案内はどうなるのか?

指定店や提携店の利用方法等についての質問が相次ぎ、有意義な会となりました。また、希望者にはセカンドライフに役立てていただくために個別生涯設計相談会も実施しました。



【倉敷医療生協】

ヘルスチャレンジ里庄町から20人が挑戦

倉敷医療生協の「ヘルスチャレンジ2009」には、7市3町が後援をしています。浅口郡里庄町では、同町健康保健課職員を中心に20人が挑戦中です。自治体の健康づくりと医療生協の健康づくりの協働が前進しています。

新築移転へ候補地決まる

真備歯科診療所

真備歯科の移転候補地が決まりました。真備の中心地に近く、町内を東西に横切る新道沿いの広い土地で、町外からの交通の便もよさそうです。いよいよ新築移転に向けての本格的な建設運動のスタートを切りました。



【グリーンコープ生協おかやま】

2009年度も子ども達の農業体験・・ファームステイ・・を夏休み初日の7月18日~19日にて実施しました。

総勢15名の子ども達が牛へ飼料を食べさせたり、子牛のお世話や牛舎の清掃などを行いました。農業体験を通じて、改めて農畜産業の大変さや大切さを知る機会となりました。

また、楽しかった思い出は「壁新聞」にして整理しました。



会員生協トピックス

【三井造船生協】

児島湖流域の清掃大作戦(岡山県主催)に参加

9月6日(日)早朝7時30分より、児島湖流域の県内10カ所で清掃大作戦が行われ、家庭会環境委員会など11名が参加しました。地域の住民とともに、八浜の元川周辺の草取りに汗を流しました。雑草だらけだった川周辺が、見違えるほどきれいになりました。



八浜の元川周辺にて

【岡山医療生協】

2009年度組合員集会

9月6日岡山医療生協は、2009年度組合員集会を行い、10月～11月の「生協強化月間」にむけて医療生協の社会的使命について学習を行いました。“危機への挑戦”と題したリム・ボン氏(立命館大学教授)の学習講演は、今のような社会だからこそ医療生協の出番があると強調されました。今年は「生協をいのちの分野に活かす大運動」が全国で取り組まれています。生協の協同の力を地域で発揮するときです。



グループ討議では、生協をいのちの分野で活かす活動をどう進めるか話し合われました。

健診受診の運動も班会などで広がっています。班では班長さんが班員の方に大腸がん健診を勧めています。今年は1万人の受診をめざして「家族まるごと健診受診」をと呼びかけています。

【おかやまコープ】

「イキイキ田んぼ交流会」 開催日2009年9月18日(金)

爽やかな秋晴れの下、JA勝英 お米生産者とのイキイキ田んぼ交流会を開催しました。

おかやまコープでは、お米の普及を通し、食料自給率向上、地産地消の推進を図っていくことを目的に「米」「米関連商品」の普及キャンペーンを新米が出荷される時期にあわせて取り組みました。

この取り組みの一環として、コープこしひかりの生産者の田んぼをお借りし、稲刈り体験と生産者との交流会を行いました。この体験を通じて、農業の大変さについて体感することができたとともに、生産者の農業への熱い想いを知ることができた企画となりました。



10月15日に岡山県に提出した要望書の要旨

1. 生協の育成・強化について

消費生活協同組合運営指導委託料について、「継続」を要望します。

2. 消費者行政について

本年9月1日より消費者庁が設置され、消費者行政の一元化と地方の消費者行政強化の方向で一歩進展しました。ひきつづき県民（消費者）のくらしや要望に応えられる施策が実行されるようぞみます。

- ① 国が打ち出している地方交付税の拡充が消費者行政部門にきちんと回るようにしてください。
- ② 消費者行政部門に司令塔的機能を位置づけ、関係部署の連携を強めて、人員・財政面の充実を図ってください。
- ③ 「消費生活相談窓口」体制の拡充と相談員の待遇改善等の強化を図ってください。
- ④ 「自ら考え行動する消費者の育成」の為に消費者団体等との提携をはじめ、広報手段、仕組みづくり、予算措置に大きな支援をお願いします。
- ⑤ 「消費生活懇談会」は、開催の仕方の改善など消費者に開かれた「懇談会」になることを要望します。
- ⑥ 消費者団体の活動の費用助成、情報提供、支援、あるいは事業委託機会を設定するなどを要望します。

3. 食の安全・食育について

- ① 社会システムの整備、関係者の倫理観の醸成とともに、行政や関係機関の連携した対応を要望します。
- ② 迅速な情報提供、健康食品等の監視、消費者にとって分かりやすい表示に関する指導に努めてください。

4. 災害対策について

- ① 大災害発災の対策・訓練、通信手段、民間との防災システムの連携、ボランティア受入れ・集中情報等が緊密に図れるようにぞみます。
- ② 新型インフルエンザ感染に関する情報網、防災対策、環境整備対策を急いで整備されることを要望します。

5. 環境対策について

- ① 「レジ袋無料配布取り止めに関する協定」を全県下に拡げて行くことを要望します。
- ② アースキーパーメンバーシップ、マイバッグ運動、もったいないごみゼロコンテスト等の取り組みの現状および事業評価の結果を公表し、県民への啓発効果が確認できる事業を実施してください。

6. 保健・医療・福祉・介護・少子化対策について

以下の諸点について、国に働きかけていただくことを求めます。

- ① 政府管掌健康保険の運営が都道府県単位に移行されることによって、保険料の値上がりに繋がることがないようにすること。
- ② 「後期高齢者医療制度」の廃止は、来年4月の保険料改定前に実現すること。
- ③ 「障害者自立支援法」の廃止。廃止されない場合でもすべての利用者負担を本人の応能負担にすること。
- ④ 介護の現場で働く人たちの報酬を引き上げること。
- ⑤ 多数の特別養護老人ホーム入所待機者のために、特養建設の枠を拡大すること。
- ⑥ 医師・看護師が不足している実態を直視し、国に対して抜本的な対策を求める。
- ⑦ 産科、小児科、救急などの体制を市町村の実態に即して、緊急に整備・充実すること。
- ⑧ 療養病床削減計画を見直してください。

7. 産消提携、地産地消運動について

- ① 自給飼料の増産支援とともに、農政全般に関わる要望として、再生産を可能とする「保障・補償措置」を国に働きかけてください。
- ② 啓発のための施策の実行と、農商工連携に取り組みながら、県内における生協および農・漁・林業協同組合が進める連携事業に対する県の位置づけを強化して、よりいっそうのご支援を要望します。